

2015世界選手権ジュニアII 10ダンス遠征報告書



選手強化部 竹下 次郎

1. 日程

7月9日(木) 往路

エールフランス航空にて羽田空港 ⇒ パリ経由 ⇒

10日(金) イタリア

ボローニャ空港 ⇒ 車で約70分、リミニ市ホテル到着

7月12日(日) 復路

イタリア ボローニャ空港 ⇒ パリ経由 ⇒ 13日(日)

羽田空港到着

2. 競技日程

7月11日(土) 15時～23時30分

WDSF 世界選手権ジュニアII 10ダンス

3. 場所：イタリア リミニ市

4. 日本メンバー

代表選手：日比野 湧・三喜穂菜美

帯同役員：竹下 次郎 同行：三喜 道代

6. 会場：Rimini Fiera



会場入口で、記念撮影



各国の国旗



5. 宿泊：UNAWAY Hotel Cesena Nord (ボローニャ空港から車で約70分)



ホテル全景



部屋の窓から

7. 報告：

① 事前準備

昨年10月にモスクワで開催されたユース世界選手権に帯同した時と異なり、今回イタリアでの世界選手権は、フライトの手配、エントリー手配、宿泊ホテルの手配、現地での送迎車の手配を帯同役員がすべて個別に行わなければならない、時間と手間が約2倍かかりました。

特に、送迎車の手配に関しては、相手先に何度も依頼メールを送信しても返信がなく、やっと着た返信に対して、問合せしてもまた回答が来ないという事態に対し帯同役員としては最後まで不安が残っていました。

② 現地到着

約12時間の飛行後午前4時パリ空港到着、乗換えに約3時間30分程の時間があり、狭い機内から少しでも解放されたことは幸いでした。

イタリア ボローニャ空港に到着したのは午前9時、到着ロビーにWDSF関係の送迎運転手が、私の名前の書いたプラカードを持って、出迎えに来てくれたのを見た瞬間、心からホッとしました。

ボローニャ空港から車で約70分、日本チームが宿泊するUNAWAY Hotel Cesena Nord に到着しました。

ホテルは郊外にあり、運よく近くに小さなスーパーマーケットがあり、部屋で休憩後貴重な食料品買出しに選手と一緒に出向きました。

ホテルの部屋は比較的広く、バスタブは無くシャワールームのみでしたが、とても清潔感のある部屋でした。

③ 会場へ移動

会場の Rimini Fiera は45万平方メートルという広さ(甲子園球場の約11倍)で、他のホールでもイタリアダン

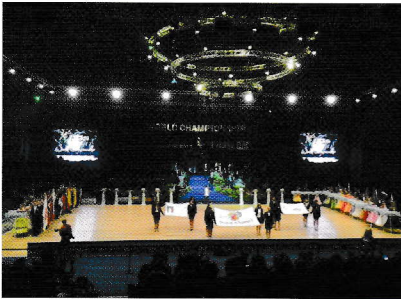
スポーツ連盟傘下の様々な団体が競技会を開催していました。

会場内には、一店ずつ見て歩くと恐らく4~5時間かかるのではないと思われるほどダンス関係のショップがたくさん並んでいました。

今回のジュニアII 10ダンスが開催されたホールは、Hall Tricolore という名前で、ホールの約4分の1を選手用の更衣場所として使用していました。場内の演出効果のためなのでしょうか、煌びやかなメインフロアとうって変わって、更衣場所は照明が無く、真っ暗で、僅かにドアの隙間から入る日の光を使って選手は着替えをしました。

④競技

7月11日 競技開始15時 競技終了23時30分



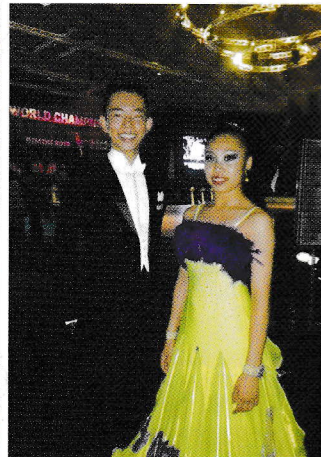
世界選手権開会式



日の丸と日本のプラカードを持つ日比野・三喜組



コールを待つ二人



10種目踊り終えたホッとした瞬間

14時40分からフロアにてウォーミングアップして、15時競技開始。出場組数は35か国 35組で、ヨーロッパ各国が中心にエントリーしており、東アジアからは日本のみで、中国、韓国、台湾はエントリーしていませんでした。リダンスなしで、一次予選からヒートシャッフルでした。

「今回がジュニアでの最後の10ダンス世界選手権だ！思いっきり自分たちのダンスを楽しんでおいで！」とペップトークして、フロアに送り出しました。

初めての世界選手権ということもあり、最初の種目サンバでは、かなり緊張していましたが、何とか最後まで踊り

きり、ホッとしました。

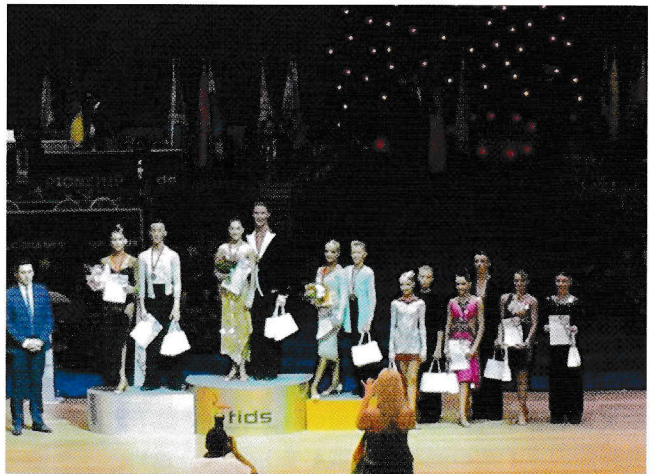
また、パソドブレでは第三ハイライトまで曲が流れるということを私が事前に伝えるのを忘れたこともあり、踊っていた本人たちは一瞬驚いたそうです。

ラテン終了後、次のスタンダードまでに15分間しか時間がなく、汗がひく間もなく直ぐに着替えて、フロアへ向かいました。

スタンダードは、タンゴでアクシデント（転倒）がありましたが、直ぐに立ち直り次のヴェニーズワルツでは長身（179cm）を活かして、ダイナミックな踊りができていました。

今回初めての世界選手権出場の日比野・三喜組は惜しくも一次予選突破はならず、32位という結果に終わりました。しかし、今回世界の風を受け、自分たちの踊りを改めて見直すチャンスを得たことが、彼らが更に進化していくきっかけとなることを期待しています。

⑤競技結果



表彰式

Final

- 1位. Russian Federation
Danila Mazur - Anastasia Polonskaya
- 2位. Romania
Beca Alin -Andrei - Tampau Catalina-Elena
- 3位. England
Glenn-Richard Boyce - Kayleigh Andrews
- 4位. Lithuania
Karolis Burneikis - Izabele Sekaite
- 5位. Moldova
Vladislav Untu - Alexandrina Olteanu
- 6位. Italy
Giacomo Pasquali - Naomi Croce

32位 Japan

Yu Hibino - Honami Miki

以上